

西尾市まち・ひと・しごと創生総合戦略
(計画期間 平成 27 年度～令和 2 年度)

総合戦略に基づく施策の
令和 2 年度取組状況及び
計画期間内の取組成果等
について

1. 西尾市の人口動態

1. 推計人口

令和2年10月1日現在の西尾市の人口は169,118人で、1年前と比べて866人減少した。

	H22年	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	前年比
総人口	165,298	167,990	168,743	169,352	169,592	169,984	169,118	▲866
0～14歳	24,617	24,236	24,188	24,222	24,039	23,881	23,559	▲322
15～64歳	105,941	103,106	102,913	102,796	102,575	102,616	101,659	▲957
65歳以上	34,561	40,211	41,205	41,920	42,542	43,050	43,463	413
不詳	179	437	437	414	436	437	437	0

出典：H22年とH27年は国勢調査(確定値)。H28年以降はH27国勢調査確定値を基準値とする推計人口
(愛知県人口動向調査)

2. 自然動態

令和2年の自然動態は、出生児数が1,252人、死亡者数が1,634人となり、382人の減少となった。

出生数は、前年より76人減少し、死亡数は34人減少した。

		H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	前年比
自然動態	出生	1,423	1,470	1,412	1,341	1,328	1,252	▲76
	死亡	1,621	1,555	1,743	1,658	1,668	1,634	▲34
	自然増減 …①	▲198	▲85	▲331	▲317	▲340	▲382	▲42

出典：愛知県人口動向調査(愛知県統計課)。

3. 社会動態

令和2年の社会動態は、転入者数が5,795人、転出者数が6,262人などとなり、1,216人の減少となった。

令和2年の転入者数は、前年より2,230人減少した。

令和2年の転出者数は、前年より991人減少した。

		H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	前年比
社会動態	転入	5,970	6,619	6,842	7,352	8,025	5,795	▲2,230
	転出	5,556	5,907	6,031	6,729	7,253	6,262	▲991
	その他増減	306	126	129	▲66	▲40	▲17	23
	社会増減 …②	720	838	940	557	732	▲484	▲1,216

出典：愛知県人口動向調査(愛知県統計課)

自然増減①と社会増減②でみる令和2年の人口増減は866人の減少となった。

	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	前年比
人口増減…①+②	522	753	609	240	392	▲866	▲1,258

2. 施策の取組状況

【基本目標1】西尾市の特色を活かして、「雇用」を維持・拡大する

本市の産業競争力を強化することにより安定した雇用の場を確保・拡大するとともに、魅力ある職場づくり、女性の就業率の向上など、雇用環境の質の向上を図り、地域の経済力・消費力向上、雇用の充実につなげます。

＜主な事業の令和2年度取組状況及び計画期間内（平成27年度～令和2年度）の取組成果や今後の展望等＞

【福地南部地域の活性化】昨年度までの協議に引き続き、福地南部地域の活性化に向けたJA西三河との協議を行った。JA西三河は、憩いの農園を核とする地域開発として、ファーマーズマーケットやファーマーズガーデンのオープンを計画しており、地域の活性化に向け取り組んでいる。今後も、農業を観光資源として生かす施設の建設を含め地域の活性化に向けJA西三河との協議を重ねていく。

【花き産地振興事業】コロナ禍で消費の落ち込む花きの需要喚起として紙コップフラワーアレンジメントコンテストの実施など、花き産地の維持発展を図るため、販売促進活動や流通の効率化を支援した。また、小中学校で花育教室を開催するなど花のある生活、花に触れる機会を増やすことで、花きの消費拡大を図った。

【特産品振興事業】特許庁及び経産省が開催した全国地域ブランド総選挙において西尾茶協同組合と名古屋大学等で結成したチームが、eスポーツと絡めた抹茶の新たな商品展開等を発表し、最優秀賞に選ばれた。計画期間内に「三河一色えびせんべい」が地域ブランドに認定され、3種の地域ブランドを持つ市となった。個々の地域ブランドが魅力アップの取組みを実施しており、地域ブランドの魅力が相乗効果的に向上した。

【ふるさと応援寄附金制度】西尾市へ寄附をされた市外の方へ市の特産品を贈呈することで西尾市の特産品のPRを行った。寄附者や返礼品提供事業者は年々増えてきており、特産品のPRや地場産業の活性化に寄与した。今後も関係人口の増加や、地場産業の活性化のため、より一層返礼品の充実やPR強化等を図り事業を推進する。

【企業立地支援のための補助金等交付事業】市外企業の誘致及び市内企業の流出防止のため、市内に工場等の新增設を行った企業に対して、奨励金等の交付を行った。計画期間内に工場等建設奨励金を交付した36社のうち15社は市外からの進出企業で、工場進出を支援し雇用の拡大に寄与した。今後も事業を継続し、市外企業の誘致、市内企業の流出防止に努めて、雇用の拡大につなげていく。

【企業戦略総合支援事業】企業の経営基盤の強化及び雇用の維持拡大を目的に、市場拡大、販路拡大等を目指し見本市等に出展する市内企業に対し、補助金を交付

した。見本市等に出展した企業は、見本市会場及びその後の営業活動で取引成立等につなげており、市場開拓や販路拡大等に効果をあげた。

【高齢者能力活用推進事業】シルバー人材センターで就労を希望する高齢者に、就業機会の開拓及び提供の支援を行った。会員数、就労件数は年々増加傾向にあり、高齢者が意欲と能力に応じて働き続けられる環境を提供することができた。

政策目標指標

各年3月31日時点

指標	基準値	実績値						目標値
	H27	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R2
従業者数（H24 経済センサス）	77,675 人 (H24)	—	82,327 人 (H26)	81,289 人 (H28)	—	—	—	77,675 人 (R2)

K P I（重要業績評価指標）

各年3月31日時点

指標	基準値	実績値						目標値
	H27	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R2
特産品による新商品開発数（累計）	1 件（H27）	1 件	3 件	6 件	7 件	11 件	15 件	6 件（R2）
東京での物産展における西尾市の認知度	30%（H27）	31%	34%	39%	41%	42%	— （※）	40%（R2）
地域ブランド認定数（累計）	2 件（H27）	2 件	2 件	3 件	3 件	3 件	3 件	3 件（R2）
事業承継支援実績（累計）	1 件（H27）	1 件	1 件	4 件	13 件	15 件	21 件	13 件（R2）
創業支援事業に基づく創業者数（累計）	26 人（H26）	30 人	33 人	47 人	61 人	79 人	92 人	89 人（R1）

※コロナ禍で物産展中止のため計測不可

○政策目標指標、K P I の全ての項目において目標値を達成できた。

【基本目標 2】 地域の魅力を磨き、「交流・にぎわい」を深化する

本市の自然・歴史・文化をはじめとする豊かな地域資源の魅力を多様な方法で情報発信し、市外から訪れたいと思ってもらえるまちを実現することにより、観光振興をはじめとする本市への人の流れをつくります。

＜主な事業の令和 2 年度取組状況及び計画期間内（平成 27 年度～令和 2 年度）の取組成果や今後の展望等＞

【ホームタウンパートナー協定】女子バレーボールチーム「デンソーエアリービーズ」PR 用うちわを作成し、施設やイベント等で配布した。また、市役所北駐車場にチームフラッグ、総合体育館周辺に幟旗と応援看板を設置して、市全体で応援する機運の醸成を行った。市のPR活動やチームの普及活動により、「西尾市にあるバレーボールチーム」という意識が根付きつつある。今後もデンソーエアリービーズを通じてバレーボール競技の振興に向けた取り組みを継続するとともに、西尾市を全国的にアピールしていく。

【佐久島活性化事業】島の活性化を担う任意団体「島を美しくつくる会」との協働により、アートプロジェクト事業や島の特産品づくりなどを行い、島外者との交流を図った。令和 2 年度はコロナ禍で交流人口は減少したが、それ以前の来島者は年間 10 万人を超えており、交流人口の促進に積極的に取り組むことができた。

【体験・交流プログラムを組み入れた観光ルートの開発】稲荷山茶園公園にて観光茶摘み体験を実施した。他にもインバウンド向けの旅行商品として、歴史公園を軸に抹茶点て体験や着物体験の商品を造成し、在日の外国人を対象にモニターツアーを実施した。計画期間全体を通して、様々な旅行商品を開発、モニターツアーを実施し、着地型観光商品として販売することが出来た。外国人観光客向けの旅行商品も各種開発しており、インバウンドが戻った際には、海外プロモーション等を活用し、誘客を実施することが可能となった。

【竜の子街道プロジェクト】竜の子街道エリアにおいて、女性向けの情報誌・Web サイト・SNS にて PR 記事の掲載を行ったほか、連携市を周遊できるプランを造成した。「醸造品」や「和文化」といった観光資源を活かして、団体及び個人観光客向けの旅行商品を造成し、エリア内への観光客誘客につなげることができた。

【訪日外国人観光 PR 対策事業】観光協会が観光庁の補助金を活用し、英語ガイドの育成及びインバウンド向けの着地型プログラムの造成を行った。観光案内看板や印刷物への QR Translator（印刷物等を多言語化できる Web サービス）の記載や、英語ガイドの育成等を実施することで、訪日外国人受け入れ態勢の整備を進めることができた。

政策目標指標

各年1月1日～12月31日

指標	基準値	実績値						目標値
	H27	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R2
交流人口（観光入込客数）（H24 愛知県観光レクリエーション利用者統計）	350 万人 （H24）	350 万人	355 万 5 千人	335 万 3 千人	355 万 9 千人	352 万人	274 万人	430 万人 （R2）

K P I（重要業績評価指標）

各年3月31日時点

指標	基準値	実績値						目標値
	H27	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R2
佐久島来訪者数（島民利用を除く市営渡船利用者数）	79,200 人 （H26）	103,145 人 （H27）	106,210 人 （H28）	103,668 人 （H29）	101,856 人 （H30）	106,607 人 （R1）	74,961 人 （R2）	107,000 人 （R2）
西尾駅乗降客数	9,828 人/ 日（H26）	10,020 人/ 日（H27）	10,323 人/ 日（H28）	10,433 人/ 日（H29）	10,655 人/ 日（H30）	10,487 人/ 日（R1）	7,869 人/ 日（R1）	10,600 人/ 日（R2）
観光用Wi-Fi利用者（アクセスポイント）数	0 ヶ所 （H27）	0 ヶ所	40 ヶ所	45 ヶ所	54 ヶ所	56 ヶ所	53 ヶ所	150 ヶ所 （R2）
ARアプリのダウンロード数	0 件 （H27）	0 件	1,622 件	2,385 件	2,921 件	3,489 件	4,130 件	20,000 件 （R2）
外国人宿泊者（吉良温泉）	9,027 人 （H26）	18,979 人	11,482 人	10,477 人	16,220 人	18,428 人	2,443 人	20,000 人 （R2）
海外からの観光協会ホームページアクセス数（言語ベース）	18,400 件 （H26）	45,441 件	11,883 件	22,410 件	10,792 件	22,821 件	11,063 件	50,000 件 （R2）
QR トランスレーターのアクセス件数	0（H27）	1,134 件	1,687 件	2,126 件	1,161 件	919 件 （R1.8～）	496 件	30,000 件 （R2）
観光協会ホームページアクセス数	629,054 件 （H26）	747,011 件	711,355 件	527,915 件	514,829 件	592,732 件	567,491 件	800,000 件 （R2）

○政策目標指標、K P I とともに平成 30 年度までは概ね増加傾向にあったが、令和元年度末以降は感染症拡大の影響で観光需要が落ち込み、目標値を達成することができなかった。

【基本目標 3】 次代を担う世代を積極的に支援し、地域で「子ども」を育成する急速な少子化と子育てに対するニーズの多様化の中で、若い世代が結婚や出産に希望をもち、子育てを楽しみ、安心して暮らせるまちづくりを目指します。また、男女を問わず子育てに参画し、男女がともに仕事と家庭生活を両立できる環境の実現を目指し、地域・事業者・行政が一体となって子どもの育成に取り組みます。

＜主な事業の令和 2 年度取組状況及び計画期間内（平成 27 年度～令和 2 年度）の取組成果や今後の展望等＞

【不妊治療費助成事業】 子供を希望しているにもかかわらず不妊に悩んでいる夫婦に対し、安心して不妊治療が受けられるように費用を助成し経済的支援を行った。平成 30 年度からは男性不妊治療に対する助成を追加し、令和元年度からは助成の上限額を引き上げるなど制度を充実させた。

【出産祝い金支給事業】 次世代を担う子どもの誕生を祝福し、人口増加及び子育て支援の推進を図るため、すこやか祝い金を支給した。申請漏れによる不支給が生じないように、市民への周知に努めるとともに子育て支援策の一環として継続していく。

【こんにちは赤ちゃん訪問事業・妊産婦家庭訪問事業・乳幼児家庭訪問事業】 生後 4 か月までの赤ちゃんのいる家庭を訪問し、子育て支援情報の提供などを行った。継続的な支援が必要な妊産婦・乳幼児家庭には、訪問して育児相談などを行った。育児相談等を行うことにより子育ての孤立化を防ぎ、継続支援が必要な家庭への適切なサービスの提供につなげた。

【子ども医療費支給事業】 通院・入院とも 15 歳の年度末までの子どもの保護者に保険診療による医療費の自己負担分を支給した。医療費の助成により子育て世帯の経済的負担を軽減し、安心して子育てができる環境づくりを行った。

【病児・病後児保育事業、保育の質の向上事業、低年齢児保育事業、長時間保育事業、預かり保育事業、休日保育事業、一時保育事業、障がい児保育事業、児童発達支援センター事業、こども発達支援事業、保育園・幼稚園園庭芝生化事業、保育園・幼稚園施設建て替え・長寿命化対策事業】 西尾市子ども・子育て支援計画の施策「地域における乳幼児の子育て支援の推進」により、各種保育事業や、保育園庭の芝生化、施設の大規模改修をはじめとする教育・保育の充実を図った。

【小学校コンピュータ教室】 GIGA スクール構想の実現に向け、各校に高速大容量のネットワーク環境と、児童に 1 人 1 台のタブレット端末を整備するなど、ICT 環境の整備を実施した。

【地域子育て支援拠点事業、ファミリー・サポート・センター、児童虐待防止、要保護児童対策、育児困難家庭への支援、療育センター（ポッポ教室）】 子育てに様々な不安や困難を抱える家庭やひとり親家庭などを含めた全ての子育て世帯

に、養育支援、相談、仲間づくり、子育て関連情報の提供、親子の遊びなどの支援や発達に遅れがある子どもの療育支援を行った。また、育児サークルの支援、ファミリー・サポート・センターの運営など、市民による自主的な子育て支援活動の促進に取り組んだ。今後も各種の子育て支援に取り組みながら、個別の状況を丁寧に捉えて、それぞれのニーズに応じてサポートできる体制づくりを進め、地域における子育て支援の充実を図っていく。

政策目標指標

各年1月1日～12月31日

指標	基準値	実績値						目標値
	H27	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R2
年間出生数 (厚生労働省人口動態調査 H26 年)	1,412 人 (H26)	1,346 人	1,352 人	1,309 人	1,258 人	1,144 人	1,135 人	1,316 人 (R2)
合計特殊出生率 (厚生労働省人口動態調査 H22 年)	1.58 (H20～H24 平均値)	1.56 (H26)	1.51 (H27)	1.54 (H28)	1.52 (H29)	1.51 (H30)	1.41 (R1)	1.64 (R2)

KPI (重要業績評価指標)

各年3月31日時点

指標	基準値	実績値						目標値
	H27	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R2
婚姻数	780 件 (H26)	766 件 (H27.1.1～ H27.12.31)	724 件 (H28.1.1～ H28.12.31)	689 件 (H29.1.1～ H29.12.31)	679 件 (H30.1.1～ H30.12.31)	680 件 (H31.1.1～ R1.12.31)	609 件 (R2.1.1～ R2.12.31)	820 件 (R2)
第2子以降の割合(児童手当支給対象児童)	51% (H26)	51%	51%	51%	51%	51%	51%	58% (R2)
ファミリー・サポート・センター会員数	888 人 (H26)	929 人	927 人	966 人	1,029 人	1,062 人	1,063 人	1,000 人 (R2)
地域子育て支援拠点の利用者数	106,539 人 (H26)	95,353 人	111,097 人	103,677 人	100,463 人	86,017 人	60,012 人	111,100 人 (R2)

○政策目標指標については、出生数、出生率ともに減少しており、改善に向け今後も取り組んでいく必要がある。KPI については、婚姻数及び地域子育て支援拠点の利用者数が、感染症拡大の影響により減少した。

【基本目標 4】 豊かな自然や文化に囲まれた快適な暮らしができる「まち」を形成する

住み続けたい、住みたくなるまちづくりに向けて、誰もが自由に移動しやすい交通が確保されたまち、全ての人が安全・安心して健康に暮らせるまち、豊かな自然や文化に囲まれた快適な暮らしを実現できるまちを目指し、人口の市外への転出抑制と移住・定住を促進する取り組みを進めます。

＜主な事業の令和 2 年度取組状況及び計画期間内（平成 27 年度～令和 2 年度）の取組成果や今後の展望等＞

【鉄道駅を中心としたにぎわいづくり事業】西尾・蒲郡線を維持するために名鉄への運行支援を行うとともに、利用者への運賃補助などによる利用促進に努めた。また、西尾駅にぎわいプロジェクトとして、駅歩行者通路を有効活用し、若者が主役となってにぎわいを創出する拠点「おいでつき」の整備を進めている。

【地域公共交通運行事業】市内を巡回するコミュニティバスを 3 路線から 8 路線に拡大し、運賃を統一するなど公共交通の再編を実施した。また、コロナ禍において大幅な減収となったタクシー事業者に対し、タクシー事業の維持確保を図るため補助金を交付した。公共交通の再編により、公共交通空白地の解消に努め、交通弱者や市民の移動手段の利便性が向上した。

【多文化共生のまちづくり】外国人に対する情報提供や相談を多言語で行う常設のワンストップ型の外国人相談窓口を開設した。また、やさしい日本語・ポルトガル語・ベトナム語の 3 種類の情報誌の発行、外国人市民への情報提供に有効な Facebook を活用し、日常生活に係るものから災害時における情報まで、外国人の生活に密接な情報を継続的に発信した。

【西尾国森土地地区画整理事業、西尾西山土地地区画整理事業、西尾上矢田西山土地地区画整理事業、西尾寺津飛越狐塚土地地区画整理事業、（仮称）西尾寺保北土地地区画整理事業、西尾天神前土地地区画整理事業、西尾上矢田北部土地地区画整理事業】組合の運営支援や、地権者による発起人会に対して事業認可の支援などを行った。今後も、事業完了に向けて支援していく。

【シティプロモーション事業】市が有する地域資源や特徴的な施策などの魅力を、定住促進を目的としたウェブサイト「にしおじかん」において情報発信を行った。また、市民主体によるシビックプライドの醸成を目的に、市の日常的生活の中で発見される魅力を伝えるウェブサイト「にしおイズム」の運営や、市民参加によるフォトブックの作成・配布などを行った。

政策目標指標

各年3月31日時点

指標	基準値	実績値						目標値
	H27	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R2
H27～H31年の社会増合計 (市町村別推計人口)	345人 (H23～H26平均)	632人 (1.1～12.31)	538人 (1.1～12.31)	842人 (1.1～12.31)	796人 (1.1～12.31)	503人 (1.1～12.31)	▲533人 (1.1～12.31)	302人 (H27～R1平均)
住みやすさの評価・居住意向 (市政世論調査で「住みよい」「どちらかといえば住みよい」と回答された割合)	73.5% (H26)	-	70.2% (H27)	-	71.2% (H30)	-	76.4 (R2)	76% (H30)

KPI (重要業績評価指標)

指標	基準値	実績値						目標値
	H27	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R2
名鉄西尾・蒲郡線年間利用者数	3,173,073人 (H26)	3,333,333人 (H27)	3,358,502人 (H28)	3,390,715人 (H29)	3,409,256人 (H30)	3,324,468人 (R1)	2,594,821人 (R2)	3,601,000人 (R2)
六万石くるりんバス年間利用者数	112,504人 (H26)	114,095人 (H27)	115,557人 (H28)	116,342人 (H29)	116,826人 (H30)	115,640人 (R1)	161,684人 (R2)	180,000人 (R2)
いこまいか一年間利用者数	1,183人 (H26)	1,095人 (H27)	1,155人 (H27.10～H28.9)	962人 (H29)	1,594人 (H30)	2,254人 (R1)	3,125人 (R2)	1,528人 (R2)
ふれんどバス年間利用者数	268,623人 (H25.10～H26.9)	270,867人 (H26.10～H27.9)	279,270人 (H27.10～H28.9)	290,367人 (H28.10～H29.9)	303,966人 (H29.10～H30.9)	304,975人 (H30.10～R1.9)	242,809人 (R1.10～R2.9)	291,000人 (R2)
路線バス年間利用者数	269,932人 (H25.10～H26.9)	283,705人 (H26.10～H27.9)	526,668人 (H27.10～H28.9)	525,579人 (H28.10～H29.9)	472,502人 (H29.10～H30.9)	472,032人 (H30.10～R1.9)	375,276人 (R1.10～R2.9)	527,000人 (R2)
佐久島渡船年間利用者数 (島民を含む)	95,300人 (H26)	119,846人 (H27)	127,825人 (H28)	123,238人 (H29)	121,859人 (H30)	125,588人 (R1)	93,487人 (R2)	130,000人 (R2)
一人当たり公園整備率	4.6㎡/人 (H24)	4.6㎡/人 (H27)	4.7㎡/人 (H28)	4.9㎡/人 (H29)	4.9㎡/人 (H30)	5.0㎡/人 (R1)	5.0㎡/人 (R2)	5.25㎡/人 (R2)
市のホームページ (シティプロモーション)アクセス数(延べ)	0件 (H26)	0件 (H27)	6,376件 (H28.11～H29.3)	18,405件 (H29.4～H30.3)	12,243件 (H30.4～H31.3)	7,246件 (H31.4～R2.3)	9,896件 (R2.4～R3.3)	20,000件 (R2)

○政策目標指標の人口の社会増については、感染症拡大の影響により外国人転入者が減少したことにより、マイナスに転じた。KPIについても、感染症拡大の影響により、公共交通の利用者数は大幅な減となった。また、令和2年4月の公共交通の再編により、路線が拡大した六万石くるりんバスについては利用者数が増加したが、寺津線、平坂・中畑線が廃止となった路線バスの利用者は大幅減となった。いこまいか一の利用者数は、幡豆地区の目的地を追加したことによる利便性の拡大により増加となった。

第 2 期西尾市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂

(1) 文章（語句）の見直しを行うもの

(区分：旧は原案、新は修正案、追は追加、削は削除)

基本 目標	方向	施策	区分	修正内容	該 当 ページ
1	1	1 他地域との交流促進	旧	【主な取組】にしお駅伝フェスティバル (スポーツ振興課) 小・中・高の部門別に駅伝を開催し、スポーツを通じて仲間への信頼を育むとともに多様な交流を図る。また、チームスポーツ特有の達成感と仲間との信頼や交流などのメリットを更に多くの市民と共有するため、リピーターに加え、ホームページや SNS 等を積極的に活用することで参加者増加を図る	8
			新	【主な取組】にしお駅伝フェスティバル (スポーツ振興課) 小・中・高・一般・シニアの部門別に駅伝を開催し、スポーツを通じて仲間への信頼を育むとともに多様な交流を図る。また、チームスポーツ特有の達成感と仲間との信頼や交流などのメリットを多くの市民と共有するためホームページや SNS 等を活用して積極的にアピールする。また、コロナ禍における開催について参加者の理解を得る 〔文言の修正〕	
	2	1 交通便利性の向上	旧	【主な取組】佐久島渡船運航事業 (佐久島振興課) 輸送力の確保、安全運航の徹底、多言語対応等、増加している利用者からのニーズに応えながら、After コロナ・With コロナに対応した、安全・安心な運航を図る	11
			新	【主な取組】佐久島渡船運航事業 (佐久島振興課) 多言語対応等、増加している利用者からのニーズに応えながら、After コロナ・With コロナに対応した、安全・安心な運航を図る 〔文言の修正〕	

基本 目標	方向	施策	区分	修正内容	該 当 ページ
1	2	2 安全・安心で楽しめる地域の形成	旧	<p>【主な取組】親子で楽しめる公園事業 (公園緑地課)</p> <p>古川緑地とハツ面山公園を一体的に捉え、川と山の豊かな自然を活かした特色ある公園として、また、年齢層に応じたゾーニングを行う等、各世代が楽しめる公園として整備を進める</p>	12
			新	<p>【主な取組】親子で楽しめる公園事業 (公園緑地課)</p> <p>古川緑地とハツ面山公園を一体的に捉え、川と山の豊かな自然を活かした特色ある公園として、各世代が楽しめる公園として整備を進める 〔事業計画見直しに伴う内容の更新〕</p>	
			旧	<p>【主な取組】公共施設再配置推進事業 (資産経営課)</p>	
			新	<p>【主な取組】公共施設再配置事業 (資産経営課)</p> <p>〔事業名の修正〕</p>	
			旧	<p>【主な取組】多文化共生のまちづくり (地域つながり課)</p> <p>外国人市民が生活するために必要な生活情報の多言語表示化や通訳・翻訳等の生活支援、生活相談等を進め外国籍住民が暮らしやすい環境整備を進める</p>	
			新	<p>【主な取組】多文化共生のまちづくり (地域つながり課)</p> <p>生活に必要な情報の多言語化や通訳による相談窓口の設置等、外国人市民が暮らしやすい環境整備を進めつつ、日本人市民及び外国人市民が、多様な価値観を認め合い、地域社会の構成員として共に生きていく社会の形成に取り組む 〔事業の進捗に伴う内容の更新〕</p>	

基本目標	方向	施策	区分	修正内容	該当ページ
2	1	2 健やかに子どもを育てる 母子支援	旧	【主な取組】母子健康診査事業 (健康課) 妊産婦及び乳幼児の異常の早期発見、早期治療を図り、 <u>健やかな発育を促すため歯科健診・フッ素塗布を実施する</u>	17
			新	【主な取組】母子健康診査事業 (健康課) 妊産婦及び乳幼児の異常の早期発見、早期治療を図るとともに、 <u>母子支援を行い健やかな発育、発達を促す。また、歯科健診・フッ素塗布を実施し歯科衛生の向上を図る</u> 〔事業の進捗に伴う内容の更新〕	
	2	1 子育て世帯の負担の軽減	旧	【主な取組】子ども医療費支給事業 (保険年金課) <u>通院・入院とも15歳の年度末までの子どもの保護者に保険診療による医療費の自己負担分を助成する</u>	18
			新	【主な取組】子ども医療費支給事業 (保険年金課) <u>子どもの通院については15歳の年度末まで、入院については18歳の年度末まで保険診療による医療費の自己負担分を助成する</u> 〔制度拡充に伴う内容の更新〕	
旧	【主な取組】私立高等学校等授業料補助事業 (教育庶務課) 私立高等学校等に在籍する生徒の保護者に対し、その授業料を補助する。 <u>また、低所得者層の方の補助額の増額を実施する</u> 年額 10,000円、12,000円、30,000円(所得に応じて)				
新	【主な取組】私立高等学校等授業料補助事業 (教育庶務課) 私立高等学校等に在籍する生徒の保護者に対し、その授業料を補助する 年額 10,000円、12,000円、30,000円(所得に応じて) 〔事業の進捗に伴う内容の更新〕				

基本目標	方向	施策	区分	修正内容	該当ページ
2	3	1 きめ細かな教育の推進	旧	【主な取組】きめ細やかな教育の推進事業 (学校教育課) 「 <u>学校経営スーパーバイザー</u> 」や「 <u>教育支援アシスタント</u> 」、「 <u>日本語教育指導支援員</u> 」、「 <u>外国語指導助手(A L T)</u> 」等を配置し、児童生徒一人ひとりの個性を伸ばしていく	20
			新	【主な取組】きめ細やかな教育の推進事業 (学校教育課) 「 <u>学校経営スーパーバイザー</u> 」や「 <u>教育アシスタント</u> 」、「 <u>日本語教育指導支援員</u> 」、「 <u>外国語指導助手(A L T)</u> 」等を配置し、児童生徒一人ひとりの個性を伸ばしていく〔 <u>語句の修正</u> 〕	
			旧	【主な取組】学校における ICT 環境の整備と活用 (教育庶務課) <u>各校に高速大容量のネットワーク環境と、児童生徒に1人1台の情報端末を整備し、校内設備や端末の維持・整備や活用を進める</u>	
			新	【主な取組】学校における ICT 環境の整備と活用 (教育庶務課) <u>各校に整備された高速大容量のネットワーク環境と、児童生徒1人1台の情報端末を利用した授業等を行うため、必要な校内 ICT 環境の維持・整備を行っていく</u> 〔 <u>事業の進捗に伴う内容の更新</u> 〕	
3	1	3 商業の振興	旧	【 <u>施策の内容</u> 】 ① <u>市内の商店街にある空き店舗の改修費の補助や賃料の補助等、魅力ある商店街の形成を支援するとともに、中心市街地におけるまちなかにぎわいづくりを支援します。</u>	27
			新	【 <u>施策の内容</u> 】 ① <u>市内の商店街にある空き店舗の活用を促進させるため、利用希望者とのマッチング、改修費や賃料の補助等、中心市街地におけるまちなかにぎわいづくりを支援します。</u> 〔 <u>文言の修正</u> 〕	
			旧	【 <u>施策の内容</u> 】 ③ <u>事業拡大の為の相談対応や専門家紹介等の支援を行います。</u>	
			新	【 <u>施策の内容</u> 】 ③ <u>売上向上、販路開拓、生産性向上等の相談対応や専門家紹介等の支援を行います。</u> 〔 <u>文言の修正</u> 〕	

基本目標	方向	施策	区分	修正内容	該当ページ
3	2	2 若者・女性・高齢者等が活躍できる地域づくり	旧	<p>【主な取組】子ども・若者育成支援事業（生涯学習課）</p> <p><u>子ども・若者支援地域協議会及び同総合相談センター</u>を設置し、子ども・若者及びその保護者等からの相談を受け、関係機関同士の連携体制を有効に活用して、修学、就職又は生活の支援につなげる</p>	29
			新	<p>【主な取組】子ども・若者育成支援事業（生涯学習課）</p> <p><u>子ども・若者総合相談センター「コンパス」</u>を設置し、子ども・若者及びその保護者等からのさまざまな相談を受け、関係機関同士の連携体制を有効に活用して、修学、就職又は生活の支援など多様な支援内容で対応していく</p> <p>〔事業の進捗に伴う内容の更新〕</p>	

プロジェクト	区分	修正内容	該当ページ
4 デジタル・トランスフォーメーション推進プロジェクト	旧	<p>【重点的に取り組む内容】</p> <p>4 産業振興における ICT 活用事業</p> <p>市内の優良な製造業について、<u>ICTを活用した異業種企業間のビジネスマッチング</u>を行い、付加価値の向上や販路拡大、需要拡大を図り、地域の稼ぐ力の向上をはかります。（以下、略）</p>	34
	新	<p>【重点的に取り組む内容】</p> <p>4 産業振興における ICT 活用事業</p> <p>市内の優良な製造業について、<u>ICTの活用を支援し</u>、付加価値の向上や販路拡大、需要拡大を図り、地域の稼ぐ力の向上をはかります。（以下、略）</p> <p>〔文言の修正〕</p>	